

募集要項

プログラム名	高齢者の医療・介護を支える人材育成講座	
開講回数	24コマ（8日間）	
開講期間	2025/9/28(日)～12/6(土) 9/28(日)、10/4(土)、10/18(土)、10/25(土)、11/9(日)、11/15(土)、11/29(土)、12/6(土)	
開講時間	13:00～17:30（休憩時間含む） ①13:00～14:20(80分) ②14:35～15:55(80分) ③16:10～17:30(80分)	
開講形式	原則、対面形式（一部オンデマンド形式あり） ※特段の事情のため講義に参加できない場合、オンデマンド教材の提供を検討します。 ただし、講師によってはご提供が難しい場合がありますので予めご了承ください	募集要項詳細等 受講関係書類 二次元コード
講義場所	KOBE Co CREATION CENTER 他 （〒650-0021兵庫県神戸市中央区三宮町1丁目9番1号センタープラザ9階）	
受講対象	兵庫県を中心に関西圏で、医療・介護事業に関係する法人運営に携わる方	
定員	30名 ※先着順 定員になり次第、締め切ります。	
受講料	80,000円（税込） ※納入後の受講料は、いかなる理由においても返還いたしません。 ※プラットフォーム会員は割引適用あり。	
申込期間	2025/8/4(月)～9/19(金)	
修了認定	下記基準を満たした受講者に修了書を発行します。 ①全24コマの講義中、原則として18コマ以上出席すること。 ②全24コマ分の振り返りシートのうち、原則として18コマ分以上を提出すること。	
その他	悪天候、災害、交通機関の運休等または講師の都合等にて対面開催不可の場合は、後日オンデマンド教材をご案内します。	

申込方法・受講までの流れ

1 WEBフォームから申込

右の二次元コードからお申し込みください。
※申込データに虚偽の記載があった場合、受講の資格を失います。
※代表者以外は、推薦者が必要です。 ※入力不備の場合は、受付できません。

WEBフォーム
二次元コード

2 受講受付完了通知の確認

WEBエントリー後、「受付完了通知」をご本人のメールアドレスに送信します。
あわせて受講料の振込についてもご案内しますので、ご確認ください。

3 受講料の振込

受講料振込方法のご案内をご確認いただき、期日までにお振込みください。

4 受講決定通知の確認

受講料の振込確認ができ次第、「受講決定通知」を送信します。
内容をご確認いただき初日のガイダンスおよび講義のご出席ください。

【主催】一般社団法人大学都市神戸産官学プラットフォーム 【協力・企画】神戸学院大学、兵庫県立大学

文部科学省 令和6年度補正予算「リカレント教育エコシステム構築支援事業」 採択



高齢者の医療・介護を支える人材育成講座

～これからの介護・医療を担うプロフェッショナルを目指し、
最新知見と実践で『学びを深める』リカレント教育～

未曾有の少子高齢化が加速していく中で、人材不足への対応など様々な課題を抱える医療・介護事業において、サービスの質向上や事業の安定性、持続性の確保は喫緊の課題です。

大学都市神戸産官学プラットフォームでは、神戸学院大学、兵庫県立大学等とともに、これからの医療・介護事業の運営に必要な知識や技能、さらには事業の持続的発展を担う高度人材の育成を目指したリカレント教育プログラムを提供します。

プログラムの特長

各分野の第一人者である専門家や国（厚生労働省、内閣府）、自治体の担当者が、最先端の知見と実践的視点を踏まえた講義を展開予定

1 医療・介護に関する政策、法制度改正

事業運営にも影響する政策動向や法制度などを国、自治体の実務担当者から直接学べる。

2 人材の確保と育成 組織マネジメント

持続可能な組織力強化に向け、採用・離職防止・育成・待遇等の組織マネジメント戦略づくりを学べる。

医療・介護事業の

- サービス品質の向上
 - 持続性、安定性の確保
- を目指して

4 AI活用など 医療・介護DXの推進

効率的な地域包括ケアシステム推進に欠かせないデータ連携やAI活用などDXリテラシーの習得。

3 リスクマネジメント 経営管理

事業の継続・発展に不可欠な危機管理、コンプライアンス遵守、そして健全なガバナンスづくりを学べる。

昨年度実績・受講者の声

本講座は昨年度ご好評いただいたプログラムを、受講者の皆さまの声を受け、さらに内容を充実させたものです。ぜひ受講者の声を右の二次元コードからご覧ください。



日程	時間	場所	テーマ	所属・役職	講師名	プロフィール
9/28 (日)	①	KOBECOCREATION CENTER	人生100年時代の医療と介護	政策研究大学院大学 医療政策コースディレクター/教授	小野 太一	1989年厚生省入省。厚生労働省、外務省、兵庫県庁（健康生活部福祉局介護保険課長）、国立社会保障・人口問題研究所等を経て、2020年4月から現職。専門は社会保障論、医療・介護政策論。
	②		医療介護経営序説…医療経営学の紹介	一般財団法人社会福祉・医療事業の経営研究会 代表理事	西田 在賢	前県立広島大学ビジネススクール特任教授、同大HBMS地域医療経営研究センター長。2009年度から静岡県立大学、2017年度から県立広島大学にて医師や看護、事務管理職に向けた医療経営講座を実施。受講生は300名以上に及ぶ。医療経営人材リカレント教育の第一人者。著書多数。
	③		医療介護政策の仕組みの概略と 今後の政策の方向性	株式会社仲野メディカルオフィス 代表取締役	仲野 豊	大卒後、広告代理店や医療・医薬系コンサルタント会社勤務を経て2011年に仲野メディカルオフィスを開設。全国の医療機関、病院団体等関連団体・企業等において講演活動を行うとともに社会医療法人、医療法人、財団法人、企業の顧問や評議員・監事等の業務を担う。
10/4 (土)	①	センタープラザ 西館 2号室	医療・介護政策の展望	厚生労働省 医政局 地域医療計画課 課長	西嶋 康浩	2002年3月山口大学医学部を卒業。厚生労働省入省後、医療体制整備、介護報酬等を担当。2020年8月から岡山県保健福祉部長。2023年5月に同省健康局がん・疾病対策課長、2024年7月に医政局医事課長、2025年7月から現職。
	②		神戸市の介護予防・日常生活支援総合事業	神戸市 福祉局 介護保険課(在宅支援担当) 係長	本田 範	2001年神戸市役所入庁。区役所、こども家庭局等を経て、2024年4月から現職。
	③		広島県の医療・介護・福祉政策の課題と展望	広島県 健康福祉局 局長	北原 加奈子	膠原病内科医。2014年厚労省入省。同省健康局、文科省、米国保健福祉省（CDC、ASPR）を経て、2019年より厚労省老健局、医政局。2022年内閣官房にてコロナ対策等に携わり、2023年より現職。
10/18 (土)	①	KOBECOCREATION CENTER	日本の医療・介護制度の課題と展望から マネジメントの質を探る	兵庫県立大学 社会科学研究科 教授	木下 隆志	研究分野は非営利組織の経営分析、支援困難事例の要因分析。国立医療・病院管理研究所、精神科病院（身体拘束禁止）のSWとして勤務したのち現職に至る。厚生労働省事業評価委員、兵庫県医療審議会等に参画。
	②		AIの活用とDXの本質	兵庫県立大学大学院 非常勤講師	松本 純	専門分野は「経営情報システム論・DX」。医療系メーカーの執行役員として、AI/IoT領域の新規事業開発に携わり、経営企画全般を統括。神戸市中小企業DXアドバイザー、兵庫県立大学非常勤講師なども務める。
	③		医療・介護事業者を取り巻く 環境変化と経営状況について	独立行政法人福祉医療機構 企画管理部 企画課 課長	松本 庄平	福祉医療機構では主に審査、債権管理、与信管理、コンサルティング、リサーチ業務を担当し、2025年度から現職。在職中、医療法人、地方銀行への出向を経験。2025年5月まで社会保障審議会専門委員を務める。
10/25 (土)	①	KOBECOCREATION CENTER	高齢者の医療・介護と栄養の重要性について	神戸学院大学 栄養学部 准教授	田丸 淳子	病院、介護老人保健施設で14年間管理栄養士として勤務後、博士（学術）を修得。現在は、神戸学院大学栄養学部で管理栄養士養成に努めている。高齢者施設での適切な栄養管理や健康経営に資する給食経営管理について研究を進めている。
	②		認知症の治療やケアを受ける患者・利用者、 家族の思い ～作業療法士の視点から～	甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 教授	竹内 さをり	病院勤務後、兵庫県但馬長寿の郷で地域ケアに従事。現在は甲南女子大学に勤務しながら、若年性や初期認知症者の支援に関わっている。約10年前に母が認知症を発症し、その後入所。家族として、その介護を経験中。
	③		医療・介護経営者のためのブランディングと 広告・SP・広報講座	医療法人一祐会 法人広報企画部 部長	島津 英昌	経営修士(MBA)、日本広報学会所属。社会医療法人祥和会(広島県)並びに医療法人一祐会(大阪府)において医療法人と病院、介護施設の広報、広告、SPの担当部門の立ち上げ。地域と組織のコンディションに応じたコミュニケーション活動を行っている。
11/9 (日)	①	KOBECOCREATION CENTER	急性期病院と在宅医療の地域連携	沖縄県立中部病院 感染症内科/地域ケア科 副部長	高山 義浩	地域医療から国際保健まで幅広く活動。行政では、厚生労働省において地域医療構想の策定支援などに従事してきた。臨床では、感染症を専門としながら、在宅医として地域包括ケアの連携推進にも取り組んでいる。
	②		人材紹介会社に頼らない採用と 育成・離職防止のポイント	社会医療法人ベガサス 法人本部次長/職員サポートセンター長	長谷川 裕之	健康経営アドバイザー・診療情報管理士。大卒後、ベガサスグループに入職。施設用度課、医事課、人事採用業務に従事後、ベガサスリハビリテーション病院事務長を経て現職。ベガサスでは人材紹介業者を通じた看護師やリハ職等の採用は行われていない。
	③		採用・育成・離職防止などに関する 受講生グループワーク			
11/15 (土)	①	社会医療法人 ベガサス 馬場記念病院	医療介護政策の方向性について	内閣官房 内閣感染症危機管理統括庁 内閣審議官	眞鍋 馨	厚生労働省にて、これまで介護保険制度の導入、診療報酬改定等に携わる。途中、医学教育や地方行政（長野県）、留学（ロンドン大学）なども経験する。医師。
	②		ベガサスグループにおける経営管理	社会医療法人ベガサス 理事/事務部長	田中 恭子	都市経営修士（MUA）、理学療法士（PT）。高度急性期医療から慢性期医療、在宅医療、福祉等幅広い患者ニーズ、地域ニーズの他、看護学校や保育所の運営まで一手に担う事務管理部門の責任者。
	③		施設見学と質疑応答			
11/29 (土)	①	KOBECOCREATION センター きらくえん	医療と介護の連携等、 今後の介護保険制度について	厚生労働省 老健局 老人保健課 介護保険データ分析室 室長	渡邊 周介	2011年医学部卒業、2022年博士(公衆衛生学)取得。臨床研修、NPO勤務等を経て、2016年厚生労働省入省。医政局総務課、保険局医療課等を経て、2024年8月より現職。これまでの担当業務は新型コロナウイルスに係る医療機関の支援、新型コロナワクチン、診療報酬改定等。
	②		KOBE須磨きらくえんにおける経営管理	社会福祉法人きらくえん KOBE須磨きらくえん 施設長	小林 大洋	須磨赤十字病院跡地に2012年から特別養護老人ホーム「KOBE 須磨きらくえん」を中心とした介護保険事業とサ高住「フィーカ 須磨の丘」を運営。ノーマライゼーションビレッジ「多世代共生のまちづくり」に取り組んでいる。
	③		施設見学と質疑応答			
12/6 (土)	①	センタープラザ 西館 2号室	これからのケアを考える ～北欧ケアと我が国のケア～	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 理学療法学科 学長/教授	備酒 伸彦	病院勤務や地域ケアの実践経験を経て、2005年より大学で教育・研究に従事。専門は地域ケア。理学療法士。
	②		2026年度診療報酬改定の動向と リカレントプログラムのまとめ	株式会社仲野メディカルオフィス 代表取締役	仲野 豊	講義時間 ①：13:00-14:20 ②：14:35-15:55 ③：16:10-17:30 会場/住所 KOBECOCREATION CENTER / 〒650-0021兵庫県神戸市中央区三宮町1丁目9番1号センタープラザ9階 センタープラザ西館2号室 / 〒650-0021 兵庫県神戸市中央区三宮町2丁目11番1-604号(センタープラザ西館6階) 社会医療法人ベガサス馬場記念病院 / 〒592-8341 大阪府堺市西区浜寺船尾町東4丁244番地 KOBE須磨きらくえん / 〒654-0111 兵庫県神戸市須磨区車字菅ノ池1351-14
	③		受講者との討議・グループワーク			